大きなイラストで丹波市を大きくPR！
走る広告塔「ちーたん号」誕生

3月28日(木)、丹波竜化石工房「ちーたんの館」で、「丹波竜」と「ちーたん」がラッピングされた公用車「ちーたん号」がお披露目されました。

認定こども園みつみの園児や一般の子どもたちが駆けつけ、ちーたんと一緒に新車両のデビューをお祝いしました。

「ちーたん号」は5人乗りで、車体には「丹波竜」や「ちーたん」のイラストが描かれ、カラフルなデザインに仕上がりました。走る広告塔として、市のＰＲを行うほか、丹波竜化石工房が主催するイベントの展示品搬送などに使用されます。

新車両の導入には、宝くじの普及宣伝に係る「社会貢献広報事業」を活用しました

認定こども園みつみの子どもたち約80人がお祝いにかけつけてくれました（写真上）カラフルな色合いで人目を引くデザインに仕上がりました（写真右）

市内25校で小学校入学式
期待を胸に新生活がスタート

晴天に恵まれた4月9日（火）、市内小学校の入学式が一斉に行われ、564人のピカピカの新1年生が期待を胸に学校生活をスタートさせました。

佐治小学校では、22人の新1年生が真新しいランドセルを背負い、保護者に付き添われながら校門をくぐりました。式典では、西垣美貴博校長が「おはよう・ありがとう・ごめんなさいがきちんと言える子どもになりましょう」とあいさつ。子どもたちはこれから、仲間とともに勉強やスポーツに励み、木の温もり溢れる学び舎でたくさんの思い出をつくります。

校長先生から教科書を受けとる新1年生

可憐に咲く「かたくりの花」
丹波市が誇る自然の恵みを堪能

4月上旬を中心に、氷上町清住で、かたくりの花が咲きそろい、連日多くの観光客で賑わいました。

4月7日（日）には、「かたくりまつり」が開催され、訪れた人々は可憐な花に心を和ませながら思い思いにシャッターを切っていました。

じゅうたんを敷き詰めたように、斜面一面に咲くかたくりの花

丹波・篠山の企業35社が出展
「就職フェア in たんば」を開催

4月6日（土）、柏原住民センターで、来春の大学卒予定者やU・Ｉターン者などを対象に、企業と直接面接ができる合同説明会「就職フェア in たんば」が開催されました。

説明会には、製造業やサービス業、医療福祉施設、金融保険業など35社がブースを出展。訪れた参加者たちは、採用担当者の企業説明を受けた後、真剣な表情で面接に臨みました。

面接に臨む求職者のみなさん。就職フェアには約130人が参加しました

全国から集まった女子高生球児よる熱き戦い

「第14回全国高等学校女子硬式野球選抜大会」が、3月28日から31日にかけて、スポーツピアいちじまで開催され、全国から参加した11チームが優勝をめざして熱戦を繰り広げました。

決勝戦では、花咲徳栄高校（埼玉）が蒲田女子高（東京）を10対3で破り、4年ぶり3回目の優勝を果たしました。

力強く、華麗なプレーを披露する選手たち。なお、今大会をもって丹波市での選抜大会の開催は、最後となります

祝 生郷交流会館の利用者が1万人を達成！

地域住民の交流拠点施設「生郷交流会館」（氷上町石生）の利用者が、4月8日（月）に、1万人を達成しました。平成23年3月15日に完成して以来、施設利用の呼びかけを行った結果、施設利用者が徐々に増加し、2年余りでの達成となりました。

1万人目の利用者となったオカリナ同好会「ひびき」のみなさんには、生郷自治振興会長から記念品と花束が贈呈されました。

右から1万人目の利用者となったオカリナ同好会「ひびき」のみなさん（右から5人）、里自治振興会長、足立副自治振興会長

あなたの仕事探しを応援！
「丹（まごころ）ワークサポートたんば」がオープン

4月1日（月）、市役所春日庁舎4階に、ハローワーク柏原と市が共同運営する「丹（まごころ）ワークサポートたんば」がオープンしました。

ハローワークが行う職業紹介を受けたり、3台の端末を使って求人検索ができたりします。また、4月8日（月）には、生活保護者や障害者に対して、各種相談、求人申込、職業紹介などをワンストップで提供するサービスも開始。足立新産業創造課長は、「雇用環境の改善に向けて、ハローワーク柏原と連携しながら、まごころのサービスでみなさんの仕事探しを応援します」と話しました。

「丹（まごころ）ワークサポートたんば」では、専用端末を使って、全国の求人検索ができます